



「わかる」「考える」「実践する」

令和6年1月9日発行第10号

# 明桜中だより

発行 北区立明桜中学校長

五明 早苗

〒114-0002 北区王子6-3-23

TEL 5959-0031

## 今やるべきことを行動

～「当たり前の生活」に感謝～

校長 五明 早苗

令和6年が始まりました。新しい年を迎え、無事に過ごせることのありがたさを痛感したのが今年のお正月だったと言えるでしょう。

1月1日には能登半島地震があり、多くの方が被災されました。まずは被災された方にお見舞いと命を落とされた方のご冥福をお祈り申し上げます。

今回のニュースで、思い起こしたのが平成23年の東日本大震災でした。津波警報が出されると同時に、テレビのアナウンサーが「逃げてください」「命を守る行動をとってください」「テレビを見ている場合はありません」と繰り返し呼びかけていたのは、まさにあのときの教訓からです。

中学生の皆さんの記憶にはないと思いますが、大人にとって、あのときの津波の恐ろしさは鮮烈です。当然、現場にいた人は、まず高い場所に逃げなければいけないということ判断し、行動を起こしたのだと思います。報道に関わる人も同じです。とにかく今、自分が出来る最善のことを判断し、行動に移したのだと思います。

地震のニュースに心痛めている時、1月2日に入ってきたのが飛行機の衝突、炎上のニュースでした。海上保安庁の乗組員で命を落とされた方には、哀悼の意を表します。一報、旅客機に乗っていた乗員乗客379名は炎の中、18分間で脱出したということでした。客室乗務員の方の判断と行動の素晴らしさと、それに協力した乗客の方々の行動は世界から絶賛されています。一人でも勝手な行動を取る人がいれば、18分間で脱出することは不可能になったはずだからです。

今回の二つのニュースを見て、学校で行っている避難訓練を重ねて考えてみました。それぞれの状況下でどんな行動をとるべきなのか、まずは知識も必要です。地震が起きた時まず取る行動は何か。煙の中を歩くときは、何に気を付けなければならないのか。

どんな状況にあっても、何より優先されるのは「命」です。そして、災害において「自分の命は自分で守る」が原則です。

日々の生活の中で、自分がどんなに気を付けていても災害に遭遇することはあります。その時、どんな行動をとるべきなのか、常に判断して行動できる人であってほしいと思います。

そして、無事で、当たり前の生活を当たり前に行うことに感謝して、今、自分がやるべきことを、一つずつ行動に移してほしいと願います。



大会等の結果（敬称略）

【税の作文コンクール】

内閣総理大臣賞



## 1月の予定

- 9日（火）全校集会
- 10日（水）各種委員会
- 13日（土）土曜授業
- 15日（月）朝礼
- 18日（木）校内研究発表会
- 19日（金）英語検定
- 22日（月）朝礼  
北区席書会
- 26日（金）都立高等学校推薦入学者選抜
- 27日（土）都立高等学校推薦入学者選抜  
北区連合展覧会（始）
- 29日（月）朝礼  
北区連合展覧会（終）
- 31日（水）音楽鑑賞教室（2年）



\* 今月から入試が本格的に始まります。

コロナウィルス感染症が5類に移行したため、都立高校推薦選抜で行われてきた集団面接が、一部の都立高校で復活します。

都立一次（前期）選抜ではスピーキングテストの結果が昨年同様、20点満点で加点されます。



## お知らせ

1年1組担任教諭のご家庭にお子さんが誕生しました。

それに伴い、同教諭は令和7年3月まで育児休業に入る予定です。



『今年も、明桜中の全職員は、保護者・地域の方と共に生徒の皆さんの未来のために全力を尽くします。』

\*\*\* 令和6年もよろしくお願いいたします。 \*\*\*

